

令和4年年度 大阪市立大淀小学校

卒業証書授与式辞

「なんとなく就職して…言われたとおりには仕事をして…それでいいのか…俺…」
ただただなんとなく毎日を過ごしている青年。ある日バスに乗っていると、近くに座っていた赤ん坊が泣きだします。そして周りの人の目が気になったお母さんが、申し訳なさそうに謝ります。その時です。運転手がお母さんに声をかけます。

「大丈夫ですよ！ お客様、ご理解のほどお願いいたします」

お母さんは「ありがとうございます」と会釈をします。そしてバスの中はあたたかい雰囲気にも包まれるのです…。

これ…実は、静鉄バスというバス会社のCMの1シーンです。「ありがとう」が生んだあたたかさ。「ありがとう」にはすごい力が宿っているのかもしれない。

卒業生の皆さん、本日はご卒業誠におめでとございます。今日は「ありがとう」の力について考えてみたいと思います。

保護者の皆様、立派に育ったお子様の頼もしい姿に感慨深いものがありなのではないでしょうか。昨今の情勢の中で、規制が多かった小学校生活だったと思います。それでも様々な場面で本校を支えていただきましたこと、厚くお礼を申しあげます。

さきほどのバスの中。今度はご年配の女性がバスを急いで降りようとするシーン。

すかさず運転手がまた声をかけます。

「ゆっくりで大丈夫ですよ。気をつけてくださいね」

その運転手をみていた青年は、だんだん心を打たれていきます。そして最後のシーン。この青年は、「バスの運転手」という仕事に就くのです。

そしてこの動画はこう締めくくられています。

『運転するだけの仕事ではない。ありがとうございますに寄り添う仕事』と。

『ありがとう』に寄り添う仕事。素敵な表現だと思いませんか？

さきほどみんなは「中学校への抱負」「将来になりたい仕事」など、思いを込めて話してくれました。そして、おうちの人や友だちへの感謝を伝えた人もいましたね。

みんなにはたくさんの素敵な場面がありましたね。

運動会…、みんなで力を合わせてがんばった！

修学旅行…、みんなのきらきらした表情が素敵でした。

作品展…、作品に思いを込め、最後まであきらめずにがんばった！

ドリームマップ…、将来の夢を描き、そして堂々と発表することができました。

幼小交流…、一緒にプールに入ったり、歌のプレゼントをしたり…

やさしいお兄さん、お姉さんでしたね。

祝う会では、先生と一緒に楽しむ時間を過ごすことができました。

こんなたくさんの素敵なシーンが今、思い出されて胸が熱くなります。

実はこれらのシーンでいつもみんながしてくれたことがあるんです。

それは校長先生にいつも言ってくれた言葉。

みんなからたくさんもらいました。『ありがとう』を。

行事の付き添いから帰ってきたときも。

修学旅行から帰ってきたときも。

キャリア教育の授業をした後も。

祝う会で先生たちの出し物をした後も。

こんなにたくさんの『ありがとう』をくれたみんな。でも『ありがとう』を本当に伝えなければならぬのは、校長先生の方です。

みんなのがんばる姿にいつも勇気をもらいました。『ほんとうにありがとう』

『ありがとう』は、元気をもらえる言葉。

『ありがとう』は、強くなれる言葉。

『ありがとう』は、やさしくなれる言葉。

『ありがとう』は、魔法の言葉。

『ありがとう』という気持ちで、これからも大切にする人になってください。

さあ、お別れの時間です。最後に、清水英雄さんという詩人の「ありがとう」という詩の一部を紹介し、別れの言葉といたします。

つらいことがおこると感謝するんです

これでまた強くなれると ありがとう

悲しいことがおこると感謝するんです

これで人の悲しみがよくわかると ありがとう

ピンチになると感謝するんです

これでもっとたくましくなれると ありがとう

…

(中略)

ピンチはチャンスだ

人生はドラマだ

人生がとてもすてきにすばらしく

よりいっそう光り輝きだすんです

ますます光り輝く人生を

ありがとうの心とともに

さあ、いよいよ中学校生活へのカウントダウンが始まりました。

十、九、八、七、六、…

『なんとなく中学生になって…言われたことだけ勉強して…。』

それでいいのか…俺!』

令和5年3月17日

大阪市立大淀小学校長 柴田 清志